

施策評価シート(平成31年度実績評価)

施策の基本情報

政策No	0102	政策名	工業の振興	施策主管課	商工労政課	課長名	伊藤 昌俊
政策の目指す姿	企業が高い競争力を持ち、生産活動を活発に行っています						
施策No	02	施策名	事業分野の拡大	関係課名			
施策の目指す姿	新分野や成長分野への進出を盛んに行っています						
現状と課題							
<ul style="list-style-type: none"> 市内には、様々な企業が立地しているものの、成長性が見込まれる産業（エネルギー、環境、医療、福祉、食品、自動車）への参入を目指す企業が少なく状況にあります。 							

前年度の評価の振り返り

前年度評価時の今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> 地域産業の継続的な発展のためには企業の新分野への参入は重要であり、参入の障壁となる要因の分析や、市として参入促進を図るべき分野の研究を行う。また、取組みを促進させるために先導役となることが期待される関連企業の誘致や企業の支援の在り方を検討する。 成長分野のなかで未配置のプロジェクトマネージャーの発掘を行う。
反映状況
<ul style="list-style-type: none"> 市補助金を活用し、エネルギー・環境分野に取り組んだ実績は1件となった。 成長分野のなかで、AI・IoTの分野に精通したプロジェクトマネージャーを新たに委嘱し、IoT導入や活用する上での基礎知識や産業の特色、参入の障壁などを分析し理解を深めるため、プロジェクトマネージャーによる講演を行った。

1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組

(1)成長分野への参入促進 成長分野参入に伴う課題解決の支援 <ul style="list-style-type: none"> 業界における専門的な知識・技術・人的ネットワークを有する人材をプロジェクトマネージャーとして委嘱・派遣し、成長分野（エネルギー、環境、医療、福祉、食品、自動車）参入に係る事業構想段階から事業化までを一貫して支援する体制を整えた。 製品及び技術開発の支援 <ul style="list-style-type: none"> 製品及び技術開発に要する経費の一部を補助 市場調査、販路拡大の支援 <ul style="list-style-type: none"> 成長分野進出に伴う市場調査を支援するためのプロジェクトマネージャーの活用の相談を市内企業2社から受けたものの活用に至らなかった。
--

2 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方	成果指標の測定方法	単位	数値区分	H28	H29	H30	H31	R02	R03
市の支援により成長分野に取り組んだ件数	成長分野に取り組むことで、生産活動が活発に行われていることを示す指標	出典：商工労政課市の補助を利用し、成長分野に参入した年度内延べ数	件	目標値		4.00	4.00	4.00		
				実績値		1.00	2.00	1.00		
成長分野への参入を目的としてプロジェクトマネージャーの派遣を受けた企業数及び起業化支援センターの支援を受けた企業の件数	成長分野への参入や補助金の採択にあたり、プロジェクトマネージャーの派遣を受けたり、起業化支援センターのコーディネーターに相談や支援を受けるため、取組みが行われていることを示す指標	成長分野への参入を目的としてプロジェクトマネージャーの派遣を受けた企業の件数 起業化支援センターの支援を受けた企業の件数 +	件	目標値		6.00	6.00	6.00		
				実績値		2.00	3.00	1.00		
				目標値						
				実績値						

3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
D	<p>成果指標「市の支援により成長分野に取り組んだ件数」…【達成度c】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市の補助金よりも限度額及び補助率が充実した国の補助金（ものづくり補助金：補助率1/2、限度額1,000万円）などを活用する市内企業が相当数あったことから、本補助金を利用し成長分野へ参入した企業は1件に留まったと思慮される。 <p>成果指標「成長分野への参入を目的としてプロジェクトマネージャーの派遣及び起業化支援センターの支援を受けた企業の件数」…【達成度c】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成長分野への参入を目的にAI・IoTの分野に精通したプロジェクトマネージャーを新たに委嘱した。プロジェクトマネージャーの活用については、市主催の施策制度説明会等で周知を図り、市内企業2社から相談を受けたものの活用に至らなかった。新事業参入及び新事業展開にあたっては、事業者が自前で有識者を発掘しているケースがあるほか、起業化支援センターのコーディネーターがその役割を果たしている面もあることから、指標に現れにくい面もある。

4 施策を構成する事務事業の検証

市民のニーズや市の関与の必要性が低下した事業、 投入コストの割に成果が低い事業、 施策への貢献度の低い事業はないか
・なし
施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか
・（成長分野参入促進事業）施策制度説明会、市ホームページ、市内企業への訪問等の際に事業の周知と啓発を行う。
新たに取り組むべき事業はないか
<ul style="list-style-type: none"> ・（成長分野参入促進事業）国や県の施策や企業の動向を見据え、県で新たに「新産業」と位置付けた分野（加速器、産業用ロボット、スマート農業機械等）を補助・支援対象に追加できるか検討する。 ・（成長分野参入促進事業）市内に「成長分野」に関連する企業を誘致する取組を行う。

5 施策の総合的な評価

課題
<ul style="list-style-type: none"> ・新たに成長分野に追加した「航空機、バイオ・新素材、AI、IoT」の分野の補助金活用については、促進に向けての周知が課題であり、起業化支援センターのコーディネート活動と連携し幅広く周知するための方策が必要である。
今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・地域企業の継続的な発展を考えると成長分野を含めた新分野への参入支援は重要であり、成功事例や好事例を紹介する機会を設けるなど参入への障壁を取り払う取組が必要である。 ・企業訪問等を通じて市内企業の参入意欲が低い状況や企業ニーズを分析し、企業の地域性と当市の特性を生かした成長分野への参入促進に努める。

施策を構成する事務事業一覧

No	事務事業名	担当課	施策への貢献度		
			対象	意図	成果
	事業内容(活動実績)		直結度		
010	成長分野参入促進事業費	商工労政	一致	直結	C
	成長分野への新規参入のための専門家による指導・助言、製品・技術開発等への取組の支援及び製品・技術開発を対象とした補助金による支援。		A		